

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【34】 0427_ボーンマスVSマンチェスター・U-NEXT

DATE

2025/04/27

NAME

田中裕介

MATCH REPORT

SCORE 1-1 (1st 1-0 2nd 0-1)

TOP3 point

- ・ ボーンマスのプレスがハマった前半
- ・ 試合の流れが変わったFWエヴァニウソンの退場
- ・ FWホイルンドが値千金の同点ゴール

Trivia of this match

- ・ 今季ブレイクのDFハイセンはGMピント氏の就任から。前ローマGM時代にもハイセンを呼び寄せていた。今季のハイセンの活躍は彼の存在が大きい
- ・ チド＝オビはアーセナルU-18からトップ契約を結ばずにユナイテッドへ。提示された金額はアーセナルの倍、ユナイテッドのレジェンド(ファン・ニステルローイ)の説得があった。

【ボーンマスvsマンチェスター・U試合レポートまとめ】

(ボーンマスの戦い方と試合展開)

- 前半：・ システムはお馴染みの4-2-3-1。立ち上がりはチームスタイルの前線からのプレスを遂行。ユナイテッドの後ろからのビルドアップを自由にさせない。
- ・ 先制点はハイプレスが見事にハマる。相手GKから始まったボールを右SBスミスがボールが奪取。すかさず上げたクロスのエヴァニウソンが落としてWGセメンヨが左足で仕留めた。
 - ・ 自陣守備はCMFの脇のスペースを使われてしまう。特に左サイドはドリブルから侵入を許していた。要因とするとスコットの守備能力な部分とCBとのマークの受け渡しがうまくいかずスペースを空けてしまっていた。
 - ・ 前半の後半部分は相手ロングボールが増えて対応にやや苦慮する。一度裏に抜け出されたピンチはGKケパがビックセーブで防ぐ。
- 後半：・ 戦い方は変えずに非保持からの素早い攻撃を狙う。左サイドから相手CBとGKの間に流し込むクロスでエヴァニウソンを狙う形は試合を通して感じた。
- ・ 67分エヴァニウソンがタックルで退場。これは大きな分岐点となった。
 - ・ 10人になり自陣に押し込まれる展開が増えたがゴール前で全員で身体を張ってゴールを守る展開が増える。
 - ・ CBセネシを投入して後ろを5枚にしてクロージング体制に。素晴らしいブロックもあったがATに再三攻められていた右サイドからクロスを入れられて失点。逃げ切りには失敗してしまった。

(マンチェスター・U-の戦い方と試合展開)

- 前半：・ システムは3-4-2-1。自陣から繋いでいこうとするがなかなかうまくいかず相手のプレスに手を焼く。要因とすると3CBの真ん中からサイドに出したタイミングで相手の守備の矢印が出てしまっていた。
- ・ 失点は相手の狙う形で奪われてしまう。自陣左サイドでドルグが奪われてそこから失点。自陣からの打開策がなかった中で失点だったので割り切ってもよかったか。勿体無い失点だった。
 - ・ 攻撃で怖さがあったのは2つ。B・フェルナンデスからの前方向の配球とガルナチョのドリブルでの侵入。ガルナチョのミドルも脅威だった。
 - ・ 途中からシンプルなロングボールを選択。徐々に相手陣地でのプレーが増えて押し込んで前半を終えた。
- 後半：・ 左サイドを中心に攻め込んでいく。ポケットへの侵入意識も前半より増えた（左CBショーのオーバーラップやガルナチョのランニング）
- ・ 67分に相手が1人退場すると選手交代も絡めながらより攻撃的な布陣にシフトチェンジしていく。
 - ・ マウントの投入で相手深い位置で危険な位置への侵入が増えてボーンマスに脅威を与えていた。チド＝オビが入り前線に2枚のターゲットができた。
 - ・ 攻め続けて攻め続けて最後にクロスからホイルンドが合わせて追いつく。苦しむストライカーの待望の同点ゴールで試合を終えた。

- (総評) 前半はボーンマスのプレスがハマる。ユナイテッドのビルドアップをうまく限定してサイドに追い込みロストを誘う。得点もその形から。ユナイテッドは今シーズン先制点を奪われたのは21回目。
- チームとしてビルドアップの修正を含めて改善したい。試合のターニングポイントは67分のエヴァニウソンの退場。試合を通してタックルが深く際どい判定が多かった中でこの退場は痛かった。
- 退場をしてからのユナイテッドの攻撃は迫力があった。結果的にターゲットを2枚にしてホイルンドを最後まで残したアモリムの采配が当たった形になった。ともに勝ち点1を分け合う試合となった。